

幕開け

ク で 鉄 へ



大阪で専用車やグッズ

花冷えも終わり、いよいよアウトドアシーズンの幕開けです。一足先に、三月に大阪・南港インテックス大阪で開かれた「大阪アウトドアフェスティバル」と「大阪モーターサイクルショー」に行ってきました。今回は大自然へと赴く乗り物に注目。交通手段そのものを楽しむキャンピングカーやオートバイのほか、会場で見つけたキャンプに便利なグッズも紹介します。(直江 純)

アウトドアフェスの会場には、大が目立つ。小のキャンピングカー約百台が勢ぞろい。車内にはベッドやテーブル、キッチンなど一通りの生活設備が備わっている。小さな子どもがいるファミリー層に加え、退職を控えた団塊の世代らシニア層にも静かなブームとか。確かに、その年代の見学者

軽トラックを改造した「テントむし」。女性や子どもにも人気のかわいいデザインだ



■軽トラックのキャンピングカー■

「バンショップミカミ」(鹿児島県曾於市)の「テントむし」は珍しい軽トラックベースのキャブコン。233万円からのお手ごろ価格で日常の足にも使える。天井が持ち上がってテントになる構造で、車内と合わせて4人分の就寝スペースを確保している。

「軽」ならではのメリットは多い。燃費、自動車税、高速料金など維持費の安さに加え、取り扱いも楽。長距離を走ると疲れそうだが、すぐに休んだり眠ったりできるのがキャンピングカーの魅力だろう。

さらに手軽な軽キャブコン「ヤドカリ」もある。ベッドは大人2人に子ども1人分。ポータブルトイレもあるなど設備は充実している。153万円から。バンショップミカミ ☎0986・72・3428